令和6年度第1回

龍ケ崎市歴史民俗資料館 運営審議会資料

龍ケ崎市教育委員会文化·生涯学習課 (龍ケ崎市歴史民俗資料館)

目次

A H17421	医第1号 令和5年度歴史民俗資料館事業報告について	рЗ
	1 龍ケ崎市歴史民俗資料館入館者数(令和元年度~令和5年度)2 龍ケ崎市歴史民俗資料館運営審議会委員名簿	

令和5年度 歷史民俗資料館事業報告

1 常設展示及び企画展・収蔵品展の開催

常設展示及び企画展・収蔵品展の開催				
(1) 常設展示	(1) 常設展示			
展示期間	令和5年4月1日(土)~令和6年3月31日(日))		
日数	302日 入館者数 18,191人			
展示場所	常設展示室、エントランス、屋外			
内容	龍ケ崎の歴史と民俗をテーマに時系列的に関連資料を展示。 エントランスホールには、国選択・県指定無形民俗文化財「撞舞」のジオラマと視聴覚資料「龍ケ崎の水と歴史」等を展示上映している。屋外には、市指定文化財4号機関車をはじめ、納屋を模した建物に田舟や水稲栽培に用いた農具、商店を模した建物にたばこや駄菓子ケース等を展示している。	撞舞 1/4 ジオラマ		
	ィア作品展「布れあい染織展」			
開催期間	4月18日(火)~5月7日(日)			
日数	20日 入館者数 1,066人	日本女		
開催場所	企画展示室	資所發 称此為:自意法(2)。 日本富士指揮(2) 播放化力(2)。		
内 容	体験学習等で協働している資料館ボランティ	TAMOR		
	アと共催で、染色や機織りの活動成果(作品 等)を展示した。			
	寸)を成小した。	染料の日本茜と作品		
(3) 松田正平	と川北英司の作品展			
開催期間	5月27日(土)~6月25日(日)			
日 数	26日 入館者数 1,346人			
開催場所	企画展示室			
内 容	当市出身の洋画家・川北英司の作品 9 点が	The state of the s		
	遺族から寄贈された。これに遺族が所蔵する			
	作品と生前交流のあった日本芸術大賞を受	松田正平の作品		
	賞した松田正平の作品を借用して展示した。	TAME 1 00 IF III		
(4) 長崎原爆写真パネル展				
開催期間	7月1日(土)~7月17日(月)			
日数	15日 入館者数 671人			
開催場所	企画展示室			
内 容	戦争の悲惨さを次世代に伝え、平和に対する	The Mark Asset		
	意識の高揚を目的に長崎原爆資料館から借			
	用した写真パネルを展示した。会場内には長			
	崎原爆資料館への中学生派遣の際に持参す	No. of the last of		
	るための折り鶴を折るスペースを設けた。			
		パネル展示風景		

(5)100年前の)ペンギンと南極探検	100年前の大学と大阪内
開催期間	7月29日(土)~8月25日(金)	
日数	24日 入館者数 1,544人	
開催場所	エントランス	25
内 容	流通経済大学三宅雪嶺記念資料館の出張展	
	示に協力。明治 43 年(1910)の南極探検の	
	成果品であるアデリーペンギンの剥製と南極	
	観測と環境問題の Q&A 式のパネルを展示	Q&A 式のパネルとペンギン剥製
	した。	
(6) 馬場台第	- 52・八幡作遺跡発掘調査遺物展	
開催期間	8月1日(日)~9月3日(日)	
日数	30日 入館者数 1,965人	
開催場所	企画展示室	
内容	令和4年(2022)、市内若柴町で発掘調査を	
	行った遺跡から出土した土器等や遺構の写真	- African
	を展示し、埋蔵文化財への理解を深めた。	A STATE OF THE PARTY OF THE PAR
		■ 馬場台第 2・SI06 出土遺物
(7) 絹本著色	 十六羅漢像複製公開展	, 31,31
	177維後隊後数公開展 9月23日(土)~10月22日(日)	
開催期間	-,,,,,,,,,,,,,-	
日数	26日 入館者数 1,455人	
開催場所	企画展示室	
内 容	平成29年(2017)から4年をかけて作成した	
	国指定重要文化財「絹本著色十六羅漢像」 (金龍寺所蔵・県立歴史館寄託)の複製を展	
	示し、文化財への理解を深めた。	羅漢像の見学風景
	展「永井正」展	
開催期間	10月28日(土)~11月12日(日)	
日数	14日 入館者数 1,675人	
開催場所	企画展示室、多目的室	AHYA
内容	郵便局の切手に作品が採用されたこともある 市内在住の写真家、永井正氏のオーロラや野	
	巾内住住の子真家、小井正氏のカーロブや野 鳥を題材とした風景写真を展示した。	
一		フォトコンテスト受賞作品と本人
	会	
(9) 収蔵品展「むかしの学校」		
開催期間	1月16日(火)~3月24日(日)	ACCO CHILD
日数	60日 入館者数 4,108 人	
開催場所	企画展示室	
内 容	小学校の見学学習「古い道具と昔のくらし」の	
	支援事業として、明治時代から昭和時代にか	
	けて小学校で使用した教科書や学校用品な	A 3 3 111
	どを展示した。 	
		学用品の展示風景
i		İ

2 普及事業の実施				
(1) 古文書詞	構座 ①上級コース「近世古文書を読む」 ②初級	なコース「はじめての古文書」		
開催回数	① 上級コース(8回) ② 初級コース(8回)			
開催場所	多目的室			
受講者数	① 延べ154人 ②延べ119人	· 秦華學落岸 【零		
講師	① 盛本昌広氏(市文化財保護審議会委員)	伊港台等安安等 多		
	② 龍ケ崎市古文書同好会員	的震息即至軍事傷一一		
内 容	6月から2月までに各コースを8回。第1日曜	堂院九金金条卷条		
	に初級、第2日曜に上級を開講した。	多年作金		
	①覚「祖々父助四郎由緒」(師岡家文書)等	次學 高學服果福		
	②「御仕置御条目五人組帳」(山崎家文書)	算「祖々父助四郎由緒」		
	等	見「祖々又助四郎田稲」		
(2) 歴史散				
開催日	① 4月22日(日) ②5月14日(日) ③10月7日	3(土) ④3月16日(土)		
参加者数	① 24人 ②20人 ③21人 ④14人			
内 容	市内の旧所名跡沿いにコースを設定し、周辺			
	の遺跡、寺社等を見学しながら歴史的背景を			
	解説した。			
	① 中心市街地西部の和菓子屋と寺社等を散			
	策した。共催:市民活動センター			
	② 市東部の長峰・半田地域を散策した。 共催:馴馬台コミュニティセンター			
	③ 市南西部の旧小貝川周辺の河岸跡等を散			
	策した。共催:市民活動センター			
	④ 市東部の長峰・半田地域を散策した。			
	共催:久保台コミュニティセンター	半田町満願寺のお化け地蔵前		
	八田・八体日二(ユニケーモング			
(3) れきみん	レシアター			
	毎週土曜日			
開催場所	多目的室			
内 容	小学生と保護者等を対象に「まんが日本昔ばなし	/」を上映した。		
(4)駄菓子原	屋[中止]			
開催日	10月			
開催場所	屋外展示場			
内 容	ふれ愛広場の開催に合わせて開催する予定であ	あったが、人員配置等の調整がつか		
	なかったため中止した。			
(5) 撞舞コス				
開催日	① 7月21日(金) ②7月22日(土) ③7月2	(日)		
開催場所	エントランスホール			
参加者数	① 10名 ②10名 ③7名			
内 容	文化財である撞舞への理解を深める機会とし			
	て、寄贈された子どもサイズの舞男衣装を着			
	て、撞舞展示コーナー前で写真撮影をした。			
		舞男のポーズ		

(6) 8mm 7	7ィルムに映る「龍ケ崎の記憶」上映会	
開催日	① 8月5日(土) ②9月2日(土) ③10月7日(土)
開催場所	多目的室	a little
参加者数	① 11人、②17人、③10人	
内容	市民協働事業の「映像アーカイブによる街づく	
	り」で集めた8mmフィルムの活用として、デジ	19
	タル化して編集したDVDを上映した。	3
		*
		土岐公出陣武者行列の映像
(7) 郷土史記		
	至の戦と日常 一松平家忠日記をよむ―	_
開催日	5月21日(日)	盛戦家
開催場所	多目的室	
受講者数	33人	重しまと康
講師	盛本昌広氏(市文化財保護審議会委員)	日家
内 容	NHK大河ドラマ『どうする家康』の放映に合わ	B CONTRACTOR OF THE PARTY OF TH
	せて、徳川家康の家臣松平家忠が日々つけた	常臣
	日記を読み解いた研究書の執筆者に講演し	a B松 の
	た。	角川ソフィア文庫の表紙より
② 俺流に記	売む常陸国風土記Ⅱ~Ⅳ	
開催日	① 6月24日(日) ②8月26日(土) ③11月25	5日(土)
開催場所	多目的室	
受講者数	① 33人 ②30人 ③16人	
講師	須藤 研氏(東京大学生産技術研究所名誉教授)
内容	『常陸国風土記』について、前年の総記に続い	
	て、「新治・筑波」「信太」「茨城」の各郡につい	
	て、様々な角度から独自の見解を講演した。	
		STATE OF THE STATE

3 体験学習教室の実施

(4)) > #=	tt as let at a
(1) わら草履	作り教室
開催日	①8月18日(金) ②19日(土)
開催場所	体験学習室、屋外
参加者数	① 10人 ②4人
講師	職員、資料館ボランティア
内 容	現在は触れることが少ない「わら」を用い、先
	人の知恵と製作技術を伝承した。



講演風景

草履の制作風景

(2) 注連飾り	作り教室	
開催日	①12月8日(金) ②12月9日(土)	
開催場所	体験学習室、屋外	
参加者数	① 6人 ②4人	
講師	職員、資料館ボランティア	
内容	青田刈りした後に日陰干しした専用の稲藁を 用いて、正月用の注連飾りを作成した。	
(2) 世十沈込教会		



完成した注連飾り

(3) 草木染め教室

開催日	①5月23(火)と24(水) ②8月3日(木) ③11
開催場所	体験学習室、屋外
参加者数	① 7人 ②7人 ③8人
講師	職員、資料館ボランティア
内 容	身近にある植物を使って、染めの技法を伝承
	した。 ① 春は2日間の工程で、桜の枝を材料に木 綿のストール 2 種類を2色に染めた。
	② 夏は、資料館の畑で栽培した藍の生葉を材料に絹のストールを染色した。
	③ 秋は、栗のイガを材料に木綿のエコバッ
(4) [111.1.45	グを染色した。



③栗のイガで染めたエコバッグ

(4) 機織り伝承教室

開催日	毎週火曜·木曜日
開催場所	体験学習室、エントランスホール
講師	資料館ボランティア
対 象 者	資料館ボランティアの希望者
内 容	高機を活用して機織りの技術を習得し、その 技術を伝承した。



機織りの実演展示

(5) 簡単機織り教室

開催日	①8月16日(水) ②8月22日(火)
開催場所	体験学習室
参加人数	① 6人 ②5人
講師	資料館ボランティア
内容	卓上の機織り機を用いて、不要になった布から新しく織物を織る「裂き織」を体験し、布のリサイクル方法を伝承した。



卓上機織り機

(6) 機織り教室

(=) () () () ()		
開催日	3月14日から22日 (8回)	
開催場所	体験学習室、エントランスホール	
参加人数	延べ19人	
講師	資料館ボランティア	
内容	龍ケ崎木綿への理解を促進し、製作技術の一端を伝承した。	



機織り機

(7) 折り紙教室			
開催日	①6月30日(金) ②11月30日(木) ③3月28	日	
開催場所	多目的室		
参加者数	①7人 ②8人 ③8人		
講師	木村峰子氏		
内容	季節に合わせて干支や年中行事等をテーマに、装飾性のある作品を折り、折り紙の魅力		
	を伝える。		
	① 作品「鶴の箱」 ②作品「寿鶴」 ③作品		
	「兜」	寿鶴	
(8) お手玉作	り教室		
開催日	2月25日(日)		
開催場所	体験学習室		
参加人数	5人		
講師	職員、資料館ボランティア		
内 容	資料館で栽培した数珠玉を用いてお手玉を		
	作り、お手玉遊び・数え唄等を伝承し、昔の遊		
	びに触れる。		
		お手玉の制作風景	
(9) 龍ケ崎と	んび凧作り教室〔中止〕		
開催日	12月2日(土)		
開催場所	体験学習室		
講師	龍ケ崎とんび凧研究会		

4 文化活動の推進及び支援

容

内

(1)『常陽小学生新聞』「昔の道具とくらし」に寄稿

応募者が少数のため中止した。

【県南版】 土浦・牛久・つくば・取手・龍ケ崎・守谷・つくばみらいの各市の公立小学校全児童に配布 【水戸版】水戸市の公立小学校全児童に配布

内容	当館が所蔵する昔の道具の写真と解説文を寄稿し、子どもたちに昔の道具とくらしに
	関心を促すとともに、館のPRを図った。
タイトル	① 鳶口(4月)、②サイレン(5月)、③消火弾(6月)、④消火器(7月)、
	⑤竿秤(9月)、⑥懐炉(11月)、⑦ハクキンカイロ(1月)⑧カンテラ(2月)、
	⑨カーバイト(3月)



令和5年5月号



令和5年9月号



令和5年11月号

(2)『りゅうほー』「龍ケ崎よもやま話」を寄稿

内 容

龍ケ崎の歴史や民俗に関心を持っていただく目的で広報紙に寄稿。

今年度は「あのころの龍ケ崎」と題して、市制施行以来70年間の歩みをテーマに次の 4 話を掲載した。

- ① あのころの龍ケ崎―昭和30年代の子どもたち―(7月後半号)
- ② 昭和50年代「市歴史絵巻土岐公出陣武者行列」(10月前半号)
- ③ あのころの龍ケ崎―昭和60年~平成初期―(12月後半号)
- ④ 70年目の節目に一「龍ケ崎の凧」を未来へ一(3月後半号)



「昭和30年代の子どもたち」



「土岐公出陣武者行列」



「昭和60年~平成初期」

(3)	デジタルスタンプラリ-	- 「龍ケ崎の文化財を巡ろう」への協力
()	1 2 2/2/2/2 2 2 1 1	- 1 HE 7 HH V 7 X 11 18/1 C XW 7 7 7 1 1 V 7 1777 7 1

期間	12月18日(月)~2月29日(木)					
参加者数	エントリー人数 562 人(商品応募人数 236 人)					
内 容	市観光物産協会主催のスタンプラリーのチェックポイントとして、文化財や市民遺産を提案し、解説原稿の作成に協力した。					
(4) 資料閲覧及びレファレンス						

参加者数	エントリー人数 562 人(商品応募人数 236 人)
内容	市観光物産協会主催のスタンプラリーのチェックポイントとして、文化財や市民遺産を提案し、解説原稿の作成に協力した。
(4) 資料閲覧	で 直及びレファレンス
期間	通年
場所	図書研究室、事務室
利用資料	【貸出資料】 『広報龍ケ崎』第131号~184号、同第185号~206号、同第207号~229号、同第230号~252号、「竹内農場庭園設計図」パネル、「桜山古墳出土大刀」、小川芋銭揮毫扁額 〔写真・映像資料〕 西洋館竣工写真、DVD『名残の汽車を訪ねて』外、DVD「8 mmフィルムに映る龍ケ崎の記憶」、撞舞写真3点及び八坂神社写真1点、絵葉書「龍ケ崎停車場の景」、絵葉書「撞舞」及び撞舞写真、舞男面及び衣装の写真
	【閲覧資料】 山崎穣家文書「名主日記」、公図「竜ケ崎町川余郷圖」、「桜山古墳出土大刀」、「長峰 第39号墳鉄剣」、『竜ヶ崎ニュータウン埋蔵文化財調査報告書』「廻り地遺跡」外
1(5) 小学校見	[学学習支援

(5) 小学校見学学習支援					
期間	1月16日(火)~3月8日(金)、				
場所	展示室、多目的室、エントランスホール				
対 象 者	市内、近隣の小学校3年生				
参加希望校	① 市内:全11小学校				
	② 市外:ひたち野うしく、向台、阿見第二、君原、かわち学園、おくの義務教育				
	延べ19 日、909 名を受入れ予定				

内 容 小学校3年生の社会科『古い道具と昔のくらし』の学習に合わせ、昔の道具の展示解説、「米作り脱穀関連用具」ビデオ上映した。また、綿繰りや糸紡ぎ、紬卓上機の体験等は資

料館ボランティアの協力を得て指導した。



糸紡ぎの実演

(6) 学芸員実習生の受入

(6) 14)()(14)						
期間	8月22日(火)~27日(日)					
対 象 者	希望する龍ケ崎市在住、出身者及び近隣市 町村在住者					
内容	大学から依頼のあった実習生を指導し、学芸 員養成の支援を行った。 【実習受け入れ先】 上智大学、立正大学、二松学舎大学					



展示実習「狐の子別れ伝説」

(7) 職場体験の受け入れ

期 間 ①7月25日(火)·26日(水)、②11月16日(木)·17日(金)、 ③11月21日(火)·22日(水)

受入れ校 ①竜ヶ崎一高附属中3名、②城西中2名、③城ノ内中3名、

内容 学校から依頼のあった生徒に、機織り体験や 民具調査の手順、古い写真と現在の写真の 対比して解説する展示実習を行わせ、資料館 業務への理解を深めた。



竜一附属中生徒の民具調査

(8) ボランティア活動の推進及び支援

対象者 希望する龍ケ崎市在住、出身者及び近隣市町村在住者 内容 資料館や関連事業を市民や来館者に、より身近な生涯学習の場として、親しむことができる人材を育成し、ボランティアが参画する事業を推進した。 【育成及び協働団体】 資料館ボランティア、龍ケ崎市古文書同好会、市民環境部会道標調査

5 資料収集整理保存

(1) 資料の収集

内 容 資料館の設立目的に沿った郷土史料・民俗資料の収集を行う。合わせて、郷土史 関係図書の充実を図るため自治体史、博物館発行図書の収集を行った。 【収集資料】()内は寄贈者氏名 〇二十三夜講に係る文書及び写真等 4 点、〇宮渕村に係る古文書 3 点、〇明治・大正期の葬儀等に関する古文書及び写真 7 点、〇川北英司作油絵 1 点、〇白黒テレビ、電気掃除機、マイク、祭礼提灯各1点及び看板類 11 点、〇高松彰一郎関連書簡等 18 点、〇ディスク型蓄音機、レコードケース各 1 点及びレコード全 19 点、〇前挽大鋸 2 点及び唐鍬 1 点、〇豊田町水神講資料 【寄贈図書】(発行機関名)

(茨城県)

茨城県教育委員会、茨城県教育財団、茨城県立歴史館、ミュージアムパーク茨城県自然博物館、土浦市立博物館、神栖市教育委員会、稲敷市立歴史民俗資料館、かすみがうら市歴史博物館、大洗町教育委員会、大洗町幕末と明治の博物館、常陸大宮市教育委員会、常陸大宮市文書館、東海村教育委員会、石岡市教育委員会、水戸市立博物館、下妻市ふるさと博物館、坂東市立資料館、笠間市教育委員会、日立市郷土博物館、常陽藝文センター、外

(千葉県)

国立歴史民俗博物館、千葉県文書館、千葉県教育振興財団、印西市立木下交流の杜歴史資料センター、印西市立印旛歴史民俗資料館、松戸市立博物館、野田市郷土博物館、流山市立博物館、関宿城博物館、市川歴史博物館、成田市教育委員会、白井市郷土資料館外

(埼玉県)

埼玉県歴史と民俗の博物館、埼玉県立川の博物館、埼玉県平和資料館、朝霞市立博物館、戸田市郷土博物館、幸手市教育委員会、外

(東京都)

港区教育委員会、港区立郷土歴史館、板橋区教育委員会、板橋区立郷土資料館、豊島区立郷土資料館、世田谷区立郷土資料館、杉並区立郷土博物館、大田区立郷土博物館、品川区立品川歴史館、外

(神奈川県)

横浜市歴史博物館、平塚市博物館、大磯町郷土資料館、寒川町史編集委員会外(その他)

群馬県立歴史博物館、岩宿博物館、仙台市博物館、相馬市史編さん委員会、長野県立歴史館、伊那市教育委員会、静岡市歴史博物館、北海道博物館、外

(2) 資料の整理・保存

内 容

市内旧家等から寄贈・寄託及び借用している古文書等の資料の整理分類を行い、郷土史の調査研究に活用するため目録作成を継続した。

また、収蔵資料及び展示資料の虫害・カビ害を防止するため燻蒸作業を実施した。 実施期間:9月4日(月)~9月9日(土)

(3) 市内の祭礼や年中行事の調査

内 容

『龍ケ崎市史 民俗編』(平成5年刊行)に掲載されている祭礼等追跡調査として、 次の祭礼の聞取りや現地調査を行った。

- 聞取調査
 - ·川原代地区

小屋の香取神社例祭 芳黄区のオピシャと大杉講

- ② 現地調査
 - ·長戸地区

上塗戸区の鹿島神社祈念祭(オピシャ)

- ③ 建造物調査
 - ・馴馬町日枝神社の鳥居修理調査 神社には正徳5年(1715)建立の一ノ鳥居と 二ノ鳥居があった。寛政10年(1789)に宿通り 中央にあった一ノ鳥居を再建したのが、現在 の鳥居であるという伝承を裏付ける台輪の 発見があった。



鳥居右柱上部の台輪

別紙1

龍ケ崎市歴史民俗資料館入館者数(令和元年度~令和5年度)

度	年	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合 計	開館日数	月平均	日平均
	R5	1,239	1,244	1,344	1,327	1,757	1,272	1,694	2,190	1,171	1,659	1,742	1,552	18,191	302	1,515	60
前	年度差	17	125	190	△ 309	△ 227	△ 238	△ 273	406	△ 389	338	△ 296	△ 237	△ 893	△ 3	△ 75	△ 2
	R4	1,222	1,119	1,154	1,636	1,984	1,510	1,967	1,784	1,560	1,321	2,038	1,789	19,084	305	1,590	62
	R3	1,162	1,226	1,020	1,451	339	291	2,002	1,827	1,052	915	728	1,165	13,178	267	1,098	49
	R2	0	115	855	1,112	1,358	1,268	1,607	1,377	986	538	675	1,472	11,363	240	946	47
	R1	1,714	1,703	1,507	1,770	3,428	1,381	2,641	2,453	1,517	2,506	2,734	276	23,630	280	1,969	84
合	計	5,337	5,407	5,880	7,296	8,866	5,722	9,911	9,631	6,286	6,939	7,917	6,254	85,446	1,394	7,118	302
平	均	1,067	1,081	1,176	1,459	1,773	1,144	1,982	1,926	1,257	1,388	1,583	1,251	17,089	279	285	61

開館以来の延べ数			
入館者数	800,193		
開館日数	9,964		
日平均	80		

令和5年度	展示名称	入館者	開催日数	日平均
4/18~5/7	資料館ボランティア作品展「布れあい染織展」	1,066	20	53
5/27~6/25	「松田正平と川北英司の作品展」	1,346	26	51
7/1~17	長崎原爆被災写真パネル展	671	15	44
8/1~9/3	馬場台第2・八幡作遺跡発掘調査出土遺物展	1,965	30	65
9/23~10/22	絹本著色十六羅漢像複製公開展	1,455	26	55
10/28~11/12	郷土作家展「永井正」展	1,675	14	119
1/16~3/24	収蔵品展「むかしの学校」	4,108	60	68

別紙2

龍ケ崎市歴史民俗資料館運営審議会委員名簿

氏 名	選出区分	備考
さいが ふみひと	学校教育関係者	
雑賀 史	(市立長山小学校教務主任)	
あきやま たくや	学校教育関係者	
秋山 卓也	(市立長山中学校教頭)	
ぉ の たけと 小野 威人	学校教育関係者	
小野一放八	(県立並木中等部副校長)	
さかいり ようこ ※ボコ パロ フ	学校教育関係者	
酒入 陽子	(流通経済大学教授)	
つつみ としあき	社会教育関係者	
堤 利明 	(県南生涯学習センター)	
よしば としゆき	学識経験者	
由波俊幸	(茨城県立歴史館学芸課長)	
*************************************	学識経験者	
佐藤 止好	(市文化財保護審議会委員)	
つかもと ゆたか	学識経験者	
塚本裕	(龍ケ崎市商工会長)	
いいじま すすむ 公 に白 ン 佐	学識経験者	
飯島 進	(龍ケ崎市観光物産協会長)	
ast くみこ 沼田 公美子	公募の市民	
位四 公天丁 	ひみいけび	
ととして として とり		

任期:令和5年10月1日から令和7年9月30日まで